

平成 29 年度日本武道館武道学園 国際交流事業
米国 本多定晴先生一行来館武道交流会



主 催：(公財) 日本武道館 武道学園
日 時：平成 29 年 7 月 18 日 (火) 午後 1 時から
場 所：日本武道館 大会議室、小道場 ほか
参加者：本多定晴先生一行 10 名、武道学園講師・生徒 50 名、他関係者 12 名
内 容：武道セミナー…「武道の歴史・現状・今後の課題」…三藤芳生
「アメリカの空手事情」 …本多定晴
武道交流会……少林寺拳法、なぎなた、杖道の演武と体験及び空手道演武
懇親会……………「本多定晴先生一行歓迎パーティー」

概 要：

北米空手道師範会所属、無門空手代表の本多定晴先生が、生徒・関係者と来日訪問し、日本武道館武道学園と武道交流会を開催した。

一行は午前 9 時に来館し、当日日本武道館で開催されていた「第 1 回都道府県対抗弓道大会」を観戦。12 時より会議室に移動して「本多定晴先生一行来館武道交流会」のオープニングセレモニーを実施した。

最初に、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長が「本多定晴先生一行を日本武道館に招くことを心より歓迎いたします。本日は武道セミナー、武道交流演武会、歓迎レセプションを執り行います。どうぞ楽しんでください」と歓迎の挨拶を述べた。続いて本多定晴先生より「今回、古くからの知人である三藤芳生先生に相談をして、このような会を開催していただき、大変感謝をしています。大学で学んだ空手を卒業後渡米してからも続けてき

ました。今回、アメリカで空手を修行している我々が、アメリカの空手事情と、日本の武道の現状をみて、違いを勉強したいと思っています」と挨拶があった。



本多定晴先生



三藤芳生常任理事・事務局長

武道セミナーでは、最初に三藤局長が「武道の歴史・現状・今後の課題」について講義を行った。武道の歴史、武道人口の増加・減少、指導者の在り方、礼節の大切さ、中学校武道必修化、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会での役割等、多岐にわたる内容だった。

続いて、本多先生による講義「アメリカの空手事情」が行われた。アメリカでの空手の歴史、自身の指導の経歴、現状、今後の展望が話された。

質疑応答では、予定時間を過ぎても忌憚のない意見交換が行われた。



武道セミナー

午後6時より場所を小道場に移動して、武道学園との交流演武会を実施した。演武会に参加した種目は、少林寺拳法、なぎなた、杖道の3種目。開会式では、三藤局長挨拶、本多先生の挨拶に続いて、武道学園講師を代表して、古川瞬也杖道講師の挨拶を行い、集合写真を撮影したあと、演武会は始まった。

演武会は、杖道、なぎなた、少林寺拳法の順で行われ、各種目演武時間8分、体験会5分と限られた時間の中で実施された。一行は初めて見る種目の演武に興味津々で、特に体験会では慣れない動きに戸惑いながらも、楽しそうに体験をしていた。各道の演武終了後、本多先生一行による空手道の演武が行われた。松濤館を学んだ本多先生が、アメリカで流派にこだわることなく伝統空手を伝えていけるようにと創始した「無門空手」の技を披露し、アメリカ人の気迫のこもった演武に皆が魅了されていた。



武道交流会開会式



集合写真



無門空手①



無門空手②



無門空手③



杖道演武



杖道体験



なぎなた演武



なぎなた体験



少林寺拳法演武



少林寺拳法体験

閉会式では、三藤局長の挨拶、本多先生の講評に続いて、武道学園講師を代表して、吉井美恵子なごな講師による講評がなされ、終了した。

交流演武会終了後、場所をレストラン武道へ移動して「本多定晴先生一行歓迎パーティー」を実施。最初に三藤局長の歓迎の挨拶のあと、吉川英夫日本武道館事務次長による乾杯で懇談となり、会は和やかに進んだ。途中、一行一人ひとりによる一言スピーチ、武道学園空手道講師である荒川尊祐講師、戸谷和弘講師の挨拶、金子茂男稲門空手会会長からも挨拶があった。最後に本多先生より「本日は大変貴重な体験や楽しい体験をさせていただき、ありがとうございました。我々一行はとても楽しい思い出ができ、日本武道館及び武道学園関係者に対しお礼を申し上げます」と感謝の挨拶のあと、一行10人全員に記念品を贈呈した。

最後は全員で本多先生一行を見送り「平成29年度日本武道館武道学園国際交流事業 米国本多定晴先生一行来館武道交流会」の全てが終了した。



本多先生一行歓迎パーティー



記念品贈呈